

## 江戸城外堀散策

平成23年(2011)13日、飯田橋に集合し、牛込から赤坂間の濠端を散策する。11日に東北関東地震が最強のマグニチュード「9」という規模で発生し、震災及び津波で多くの犠牲者が出た大地震の後だけに、余震も多く、かつ交通手段も制約されて外出に不安が生じる状況であり、参加者も4名(栗林・藤保・野村・私)と少なかった。

翌日からは計画停電で電車の制約が一層厳しくなり、垣間をぬった気分転換の散策には良いタイミングだった。

江戸城外堀は寛永13年(1636)に105家の大名を動員して築かれた濠と土手であり、今は城門石垣の一部が残っているに過ぎない。

JR飯田橋駅の出たところは牛込門である。今は少し石垣が残っている。お堀の土手沿に桜並木を抜け法政大学の前を通り、遠く防衛省のアンテナ塔を臨みながら市ヶ谷門へ行く。牛込濠と市ヶ谷門よりの新見附濠は段差があり水門で水位が調節されている。西の濠に行くほど水位が高くなっている。途中、ホームレスが寝ないようにベンチの椅子が真中で仕切っているのは怪しい。釣り人が陽だまりの中、のんびりと釣り糸を垂れている。

私学会館前を通り、市ヶ谷門を抜け、イグナチオ教会、上智大学前を抜けて喰違へ出る。

途中、学生が演劇の発声練習をしている。若いことは羨ましいことだ。

喰違に至る真田堀は埋め立てられ、上智大学のスポーツグラウンドになっている。日曜日なのに誰も使っていないのはもったいない気がする。

でも、桜並木は素晴らしい。桜の時期はきれいに咲き、人で混みあうことが予想される。

喰違は寛永13年(1636)以前の慶長17年(1612)に縄張りされた見附の形態の遺構だが、ビニール袋が散乱し、興ざめである。

喰違から赤坂見附へ歩を進め、日枝神社にお参りする。

日枝神社は3代将軍家光以来、歴代将軍が、上覧されるということで、江戸城内に入れたお祭りで、江戸三大祭りの一つとして数えられている。



牛込門址



外堀の遊歩道



ホームレス防止の椅子



桜並木の遊歩道

山王稲荷さんもある。外国人が喜びそうな鳥居群である。



### 日枝神社

昼食は赤坂で少々ヘビィなステーキレストランでステーキを食べ、交通事情もあり、早目に解散する。

散策を通じて思うことは過去にはなんとなく眺めていた濠も改めて観ると別な趣があるから不思議だ。

歩いた距離は一万歩強であった。(井田 記)



山王稲荷の鳥居群